

27日早朝に（4時30分）松田を出発、山荘には8時30分に到着して、薪ストーブを焚いて体を温めます。11月後半になると、2000mを越える山岳地域には雪がふり1500mでは霜が降りるようになります。山荘の標高は1050m、広葉樹は落葉して森の奥まで見通せるようになります。今回はホールに電気を引いて、コンセントや照明を設置します。

折本さんが9時半頃に到着、工事の手順はまず、キャビンAから架空電線でホールに電気を送ります。そして、室内用のケーブルに結線して「ブレーカー」まで配線。ブレーカーは2系統準備して、ホール照明と東側のコンセント。そして台所トイレ、ロフト部への配電システムです。今日はどこまで設置できるか？私は手伝うことが出来ないで、折本さんの頑張り次第です。私は黙々と、薪作りに専念しました。昼食は「味噌ラーメン」

午後2時ごろに南側の照明が点灯！午後4時にホールの照明（3列）が完成しました。ライティングレールという器具で、LEDライトを点灯させま



す。ライトはレールのあるところでは自由に動かすことが出来るので、南側の窓際は4灯、中央は6灯、北側は5灯と点灯数を調整する事が出来ます。本も読めるくらいの明るさがあるので、ホールを研修などに活用することが出来るでしょう。



折本さんは日帰りの予定なので、暗くなる前に道具を片付けて群馬の自宅に帰宅しました。私は薪割りした唐松をリヤカーでハウスの下に乾燥させるために運びます。来年の秋には水分量20%以下まで乾燥して使えるようになるでしょう。夕食は簡単に済ませて、今夜は薪ストーブの前で一人でのんびりと読書します。

11月28日(土) 外気温2℃ 室内18℃ くもり明け方一時雨

4時ごろに鹿が「きーん」「きーん」と鳴き始めました。秋は繁殖期なので雌をを呼んでいるのか、縄張りに入ってくる雄を威嚇しているのだと思います。7時ごろに起床！今朝は鹿のおかげで、寝坊しました。朝食は野菜ジュースとヨーグルト！今日はBS隊長時代に副長をしてくれた上野君が山荘を訪問します。新幹線で佐久平まで来てそれから在来線の小海線で「中込駅」まで来るので、11時ごろに迎えに行きます。新幹線の早割で5割引だと言っていました。安いですね！

佐久市内に出るので、ついでに「つるや」で食料の買い出しをしてから駅に行きます。上野君は外資系で免税ショッピングの開店やサポートを行う会社の副社長、2人の子どもも独立したので今年から一人キャンプを楽しんでいるそうです。

中込駅は1915年開業、105年の歴史があり1日の乗降人員は1000人ほどで、佐久盆地を真っ直ぐの線路が続いています。駅周辺は寂しく感じる場所でした。2020年無線通信式信号導入という横断幕が掲げられていた。安全性の向上に努めている地方鉄道の努力ですね。定刻の11時28分に列車が到着R254号線を山荘に向かって走ります。朝は曇っていたのですが、昼から晴天になり気温も上昇して、外での作業は快適です。「昼食は絶品湯麺」

場内やホールを案内して、薪割りやロケットストーブの操作などを体験してもらいました。ロングアックスの使い方を教えてみましたが、なかなか上手く振り下ろせないの、背中と腰が悲鳴を上げていたようです。16時には作業を終えて、今夜は荒船温泉へ行ってきました。この温泉は公営の施設でしたが、経営不振で昨年の秋に一時閉館していました。それを建築会社が再建したと聞きました。山荘から一番近い温泉なので歓迎です。夕食は焼き肉！



夕食後は薪ストーブの前で、昔話・・・お土産に持って来てくれたアイリッシュウイスキーで40年前のスカウト活動の楽しさ、厳しさを思い出しました。1つの話題で「オーバーナイトハイキング」について、私がやっていたのは地形図に歩くコースを記入して決められたルート歩く「ルートハイキング」でした。距離はだいたい、50kmで5つのコースを持っていました。体力と読図能力そして

班長には「全員を連れて帰るように」指示していたのでリーダーシップも高まったことと思います。それに向けた隊ハイキングや班ハイキングがそれに向けた準備だったことなど、指導者としての裏話もすることが出来ました。楽しい夜が更けていきます。満月が近くなっているので、澄み切った夜空に月がきれいな夜です。

23時消灯！



11月29日(日) -1℃ 17℃ 快晴 霜柱が立っている 6時起床

薪ストーブにまだ熾火が残っているの、室内は暖かかったけど、外は-1℃、寒くなってきました。朝食はピザトーストと牛乳、私は野菜ジュース。

今日の予定について荒船山登山を提案したところ、上野君は薪割りの筋肉痛で背中とおしりがぱんぱんになっていて、辛いと言っています。それに一週間前のゴルフで捻挫しているから、登山は無理かもしれないなどと、弱音を吐いていましたが却下して登山することにしました。

それには良い予感がしていて、-1℃と言うことは「霧氷」の森を歩けるかもしれない。そして荒船山の「臙岩」ともいわからの展望は浅間山、北アルプス、佐久高原など一望に出来ます。荒船不動尊下の駐車場から出発、沢筋の荒れた登山道を星尾峠まで一気に登ります。峠は



風の通り道で、汗ばんだ身体を冷やしてくれます。荒船山の正式名称は「軽塚山」1422m、台形の平らな場所をたどっていくと「臙岩」の展望台にたどり着きます。頂上は気温も低くまだ日差しが強くないので、「霧氷」の森になっていて、自然現象の奇跡を見ているようでした。展望台からは冬化粧した浅間山や遠くには北アルプスまで展望することが出来ました。怖いのであまり岩の縁まで行けませんが、眼科にはR254号線を走っている車がくっきり見えています。天気も良く日曜日だったので、登山者も100人ぐらいには出会いました。帰り道は「霧氷」が太陽光でさらさらと落下する、雪道のような状況でした。歩行時間2時間30分、標高差500m



5年間通っていて初めての荒船山登山は成功でした。午後からはサンピヤ佐久温泉に行って体を休め、帰路につきました。

次回は12月11頃に電気工事、市税の運搬山荘の閉鎖をします。

